

報道関係者各位

2023年6月21日
株式会社アマナ

7月15日開幕「浅間国際フォトフェスティバル 2023 PHOTO MIYOTA」
今年のテーマは「イメージの実験場」
AI時代に写真家たちは何を考え、発信しているのか。
～マツダなど協賛企業とのコラボレーション展示も～

コミュニケーション変革をクリエイティブで実現する株式会社アマナ（本社：東京都品川区、代表取締役社長兼グループCEO 進藤博信、以下「アマナ」）は、7月15日（土）から9月3日（日）まで、御代田町（所在地：長野県北佐久郡御代田町、町長：小園拓志）と共同で、「浅間国際フォトフェスティバル 2023」を開催します。今年度の浅間国際フォトフェスティバルは、「イメージの実験場」をテーマに世界中の写真家による作品を展示予定です。



©Christto & Andrew

【PHOTO MIYOTA について】

フェスティバル参加写真家

アントニー・ケアンズ（イギリス）
クリスト&アンドリュウ（プエルトリコ、南アフリカ）
ジュリー・コックバーン（イギリス）
グレゴリー・ハルペーン（アメリカ）
濱田祐史（日本）
濱本奏（日本）
リュウ・イカ（モンゴル）
柿本ケンサク（日本）
苅部太郎（日本）
ニコ・クリジノ（南アフリカ）
ドーラ・ライオンストーン（ドイツ）
マックス・ピンカース（ベルギー）
ハナ・ウィタカー（アメリカ）
（予定）

テーマ

イメージの実験場

ステートメント

加速するデジタル化に加え、CHAT GPT に代表されるような AI の登場により、私たちの日常はデジタルとアナログの境がますます曖昧になっています。写真は、その 180 年余りの歴史の中でテクノロジーの進歩とは切っても切れないメディアとして、常に進化してきました。アート写真のジャンルにおいて、写真家たちの中には最新技術を駆使する一方で、同時に、古い技法やアナログの手仕事なども積極的に取り入れたり、ハイブリッドに掛け合わせたりしながら、新たな表現の可能性を探る人たちも増えています。アーティストたちは、まさに現実と向き合い、イメージを媒介とした実験を繰り返す研究者のような存在なのです。

戦争、災害、人権問題、環境問題、人種、ダイバーシティなど、世界が様々な問題に直面し、混迷するこの時代、今年の PHOTO MIYOTA は、現在と未来を映し出す イメージの実験場 として、国際的なアーティストたちが新しい気づきを与えてくれる場となることを期待しています。

展示の見どころ

「イメージの実験場」というテーマ通り、旧来の「写真」の概念におさまらず、新しい表現の拡大に挑戦する写真家たちの作品が一堂に集まります。

コラージュや刺繍などアナログ手法とデジタル技術をハイブリッドで組み合わせた作品や、AI を用いて画像が自動生成されるテクノロジーを駆使した作品、また、あえて時代遅れだと考えられている技術や手法を使用して再構築している作品など、実験的なアプローチで制作された作品には多くの発見があることでしょう。

また、フェスティバルならではのダイナミックなスケールやユニークな支持体を用いた展示インスタレーションの手法にもまた、写真家たちの実験的な姿勢が現れています。

マツダなど協賛企業によるコラボレーション展示

今年の「浅間国際フォトフェスティバル 2023」では、マツダなどアートに理解の深いブランドや企業がスポンサーとしてフェスティバルの開催をサポート、作品展示の形でコラボレーションしながら、インタラクティブに鑑賞を楽しんでいただける場を目指します。

マツダはAIを駆使して鑑賞者との関係性によって自動生成された画像が車に投影される展示で、それぞれアナログ表現による美しさの追求から先端テクノロジーを駆使した新しい表現まで、さまざまな「実験」を試みます。

「浅間国際フォトフェスティバル」とは

「浅間国際フォトフェスティバル」は、浅間山麓の美しい自然の中で、五感で感じられるさまざまな写真体験ができるアートフォトの祭典です。2018年にスタートし、これまでに長野県の御代田町の「PHOTO MIYOTA」、長野原町の「PHOTO KITAKARUIZAWA」、小諸市の「PHOTO KOMORO」など浅間山麓の複数の会場で、それぞれの自治体や地元企業と共同で開催してきました。アマナが発刊するアートフォト専門誌『IMA』のエディトリアルディレクター・太田睦子と共同キュレーターであるアイヴァン・ヴァルタニアンとのキュレーションのもと、国内外の優れた写真家たちの作品を屋内外に展示。さらにワークショップや写真教室など、写真の楽しさを提案する体験型のイベントも実施しています。

▼「浅間国際フォトフェスティバル 2023 PHOTO MIYOTA」開催概要

会 期 : 2023年7月15日(土)から9月3日(日)

水曜日定休(8月16日(水)を除く) *屋外展示は自由にご覧いただけます

時 間 : 10:00~17:00(屋内展示の最終入場:16:30まで)

会 場 : MMoP(モップ) | (住所) 〒389-0207 長野県北佐久郡御代田町大字馬瀬口1794-1

入場料 : 一部有料1,000円(一部建物のみ有料、中学生以下無料)

お問合せ : info@asamaphotofes.jp

主 催 : 浅間国際フォトフェスティバル 2023 PHOTO MIYOTA 実行委員会

後 援 : 長野県、信州大学、一般社団法人長野県観光機構、しなの鉄道株式会社、信濃毎日新聞社

協 賛 : ザ・ロウ、マツダ株式会社、パナソニック株式会社、株式会社ひらまつ、軽井沢ウイスキー株式会社、戸塚酒造株式会社、大井建設工業株式会社、株式会社カネト、日穀製粉株式会社、株式会社遠藤照明、株式会社オクタノルムジャパン、株式会社コックス、信州ハム株式会社 swissQprint Japan 株式会社、ニーチェアエックス、株式会社ミューズ・ディ

[実行委員長] 小園拓志(御代田町長)

[副実行委員長] 進藤博信(株式会社アマナ代表取締役 兼 アマナグループ CEO)

[エキシビジョンディレクター] 太田睦子(『IMA』エディトリアルディレクター、アマナ所属)、アイヴァン・ヴァルタニアン(インディペンデント・キュレーター)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社アマナ | Communication Design Room / 広報・PR 担当：武内、高橋
TEL：090-7819-4897（武内）、070-3892-9259（高橋） MAIL：pr@amana.jp

株式会社アマナ 会社概要

代表者 : 代表取締役社長 兼 グループ CEO 進藤博信
所在地 : 東京都品川区東品川 2-2-43
設立 : 1979 年 4 月
資本金 : 100 百万円
証券コード : 東証グロース市場 2402
売上高 : (連結) 14,165 百万円 ※2022 年 12 月期実績
従業員数 : (連結) 820 名 ※2023 年 1 月 1 日現在
事業内容 : ビジュアルコミュニケーション事業（コミュニケーション領域における戦略・企画立案、ブランドデザイン&アクティベーション、インナーコミュニケーション、コンテンツマーケティング、コンテンツ制作・編集、プロトタイピング、ムービー／グラフィック制作、WEB 制作、その他各種プロモーション施策の立案など）
URL : <https://amana.jp/>